

第65期 決算のご報告

2 0 1 2 年 4 月 1 日 ～ 2 0 1 3 年 3 月 3 1 日

60th
ANNIVERSARY



Smiles for All.

すべては、笑顔のために。

株主・投資家の皆様へ



おばた かずお
代表取締役社長 **小畑 一雄**

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、当社第65期（2013年3月期）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、1953年の創業以来、マルちゃんブランドのもと、「安全でおいしい商品」「確実なサービス」をお客様にお届けすることを心掛けてまいりました。

そのような中、1975年発売の生麺「焼そば3人前」、1978年発売の「赤いきつね」並びに1980年発売の「緑のたぬき」といった多数のロングセラー商品が生まれました。

2011年秋に発売した「マルちゃん正麺」は、麺本来の味わいを即席麺で実現したことでおお客様の支持を頂戴しており、今後期待できる商品のひとつとなっております。

また、国内だけでなく北米地域を中心とした海外でも幅広く事業を展開しており、生産・販売・物流体制の効率化や消費者のニーズにマッチした新商品の開発により、さらなる発展を目指す所存です。

当社は、スローガンである「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」に込めた思いの通り、従業員一人ひとりが主体となり、「安全・安心」への取り組みやより良い商品の安定供給等により、食品企業としての社会的使命を果たしてまいります。

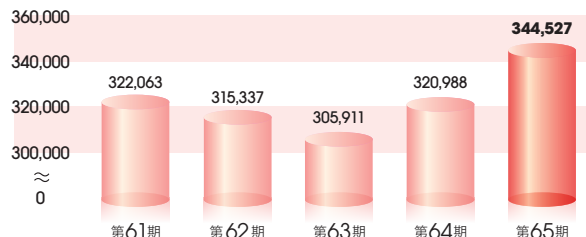
株主の皆様には、引き続き、一層のご支援、ご指導を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

2013年6月

連結決算ハイライト

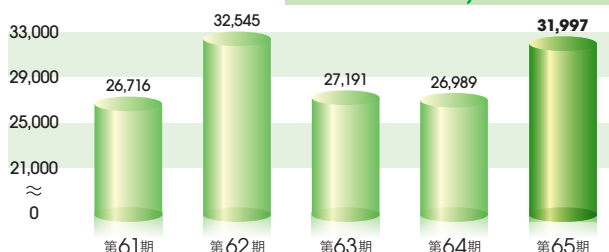
売上高の推移（百万円）

売上高 **344,527** 百万円



経常利益の推移（百万円）

経常利益 **31,997** 百万円





営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果等を背景に持ち直しの動きが見られますが、海外景気の減速や雇用情勢等、景気を下押しするリスクも依然としてある状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを

提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は 344,527 百万円（前期比 7.3%増）、営業利益は 29,623 百万円（前期比 16.1%増）、経常利益は 31,997 百万円（前期比 18.6%増）、当期純利益は 17,280 百万円（前期比 7.2%増）となりました。

次期の見通し

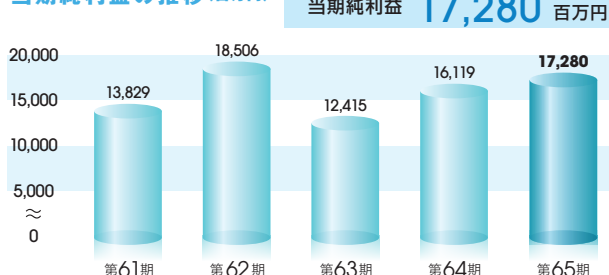
次期（2014 年 3 月期）の見通しにつきましては、輸出環境の改善や経済対策、金融政策の効果等を背景に持ち直しの動きが見られますが、海外景気の減速や雇用情勢等、景気を下押しするリスクも依然としてある状況が続くものとみられます。

当食品業界におきましては、個人消費の持ち直し傾向もみられるものの、消費者の生活防衛意識や低価格志向が続く中で、市場環境は引き続き厳しい状況にあります。また、食の安全・安心等企業の社会的責任がますます求められていくものと考えております。当社グループにおきましては、さらに地域別・

製品別の販売促進を強化した積極的な営業活動を実施するとともに、当期と同程度の経常利益の達成を目指しております。また、費用面でもより厳しい販売競争に対応するため、物流の再構築・生産部門での徹底したコストの削減に注力していく所存であります。

以上により、通期の売上高は 370,000 百万円、営業利益は 31,000 百万円、経常利益は 32,000 百万円、当期純利益は 20,000 百万円を見込んでおります。なお、対米ドルの換算為替レートは 94.00 円で想定しております。

当期純利益の推移（百万円）



次期見込（2014 年 3 月期）

連結売上高 370,000 百万円

連結経常利益 32,000 百万円

連結当期純利益 20,000 百万円

セグメント情報

国内即席麺事業



▶ 売上高 **116,974** 百万円

国内即席麺事業は、カップ麺では、主力の和風麺やワントン類等の積極的な新製品の発売もあり堅調に推移しました。また、2013年3月には女性向けカップ麺「hanauta」を発売し、新規需要の掘り起こしを行っております。ノンフライカップ麺の「麺づくり」は消費者キャンペーンやリニューアルを実施しました。袋麺では、「マル

ちゃん正麺」は、2012年8月に新アイテムの塩味を発売し、積極的なプロモーションを展開したことで好調に推移しました。その結果、売上高は116,974百万円(前期比9.7%増)となりました。セグメント利益は、増産による生産効率の向上に加え、原材料費が比較的安定したこともあり、12,022百万円(前期比12.3%増)となりました。

低温食品事業



▶ 売上高 **62,069** 百万円

低温食品事業は、生麺は市場の縮小に歯止めがかからず厳しい環境が続いております。主力の3食焼そば類は、消費者キャンペーンやリニューアルを実施しましたが微減となりました。新製品の「ナポリタンスパゲッティ3人前」は順調に推移しております。また、うどん類やそば類の和風麺カテゴリーは堅調に推移していますが、生

ラーメン類は競合品との価格競争により苦戦し、生麺全体では前年を下回る結果となりました。冷凍食品類は、主力である業務用冷凍麺の低価格競争の激化により厳しい環境が続きましたが、外食産業や産業給食での新規開拓と販売強化により順調に推移しました。その結果、売上高は62,069百万円(前期比2.1%減)となりました。セグメント利益は、販売促進費の増加により3,567百万円(前期比1.1%減)となりました。

加工食品事業



▶ 売上高 **17,746** 百万円

加工食品事業は、米飯は新製品発売や積極的な販売活動を行い増収となりました。フリーズドライ製品はカップ入り「7種の野菜を食べるスープ」が好調に推移しました。魚

肉ハムソーセージや調味料類は低価格販売が進み売上が減少しました。その結果、売上高は17,746百万円(前期比3.0%増)となりましたが、原料米や鰹節、すり身の価格高騰もあり、セグメント損失は85百万円(前期はセグメント利益578百万円)となりました。

海外即席麺事業



▶ 売上高 **70,650** 百万円

海外即席麺事業は、前年度の第2四半期後半から第3四半期にかけて実施した値上げ効果と、その後も引き続き行った大手量販店との連携強化や、主力製品及び新カテゴリーのヤキソバ、ボウルの積極的な販売活動により、主に中米・南米を中心に販売数量が好調に推移したこと、

及び円安の影響により売上高は70,650百万円(前期比22.7%増)となりました。セグメント利益は、原油価格高騰の影響により運賃等のコストは増加しましたが、一部原材料価格が安定したこと、また、昨年度の値上げ及び拡販の効果、加えて円安の影響により13,162百万円(前期比58.8%増)となりました。



水産食品事業



▶ 売上高 **32,361** 百万円

水産食品事業は、海外においては欧州政府債務危機等による世界経済の減速、国内においてはデフレ及び低調な水産物の消費マインド等で競争激化となり、厳しい環境が続きました。そのような状況の中、得意商品の魚卵、マグロ、イカ等を中心に付加価値商品の開発・販売を積極的に進めた結果、売上高は

32,361 百万円（前期比 0.6%減）となりました。セグメント利益は、チリ産銀鮭を中心とした養殖鮭・サバ等の市況の悪化、三陸地区における連結子会社の復興や水産加工場の一部改修工事等による減価償却費の増加、円安の進行等、利益を押し下げる要因が数多く発生し、49 百万円（前期比 94.3%減）となりました。

冷蔵事業



▶ 売上高 **14,918** 百万円

冷蔵事業は、輸入品の保管や電力需給問題に対して顧客が行った前倒し生産品の保管対応を積極的に取組んだ結果、売上高は 14,918 百万円（前期比 0.7%増）

となりました。セグメント利益は、電力料金の値上げによる動力費の上昇や高い保管需要に対して庫腹不足を補うための再保管諸経費等が増加し、省エネ対策等コスト削減に努めましたが、1,146 百万円（前期比 0.5%減）となりました。

その他事業

▶ 売上高 **29,726** 百万円

その他は、主に弁当・惣菜事業及び不動産賃貸事業であります。売上高は 29,726 百万円（前期比 3.3%増）、セグメント利益は 1,366 百万円（前期比 6.5%減）となりました。

事業セグメント別売上高構成比



1. 国内即席麺事業	33.95 %	116,974 百万円
2. 低温食品事業	18.02 %	62,069 百万円
3. 加工食品事業	5.15 %	17,746 百万円
4. 海外即席麺事業	20.51 %	70,650 百万円
5. 水産食品事業	9.39 %	32,361 百万円
6. 冷蔵事業	4.33 %	14,918 百万円
7. その他事業	8.65 %	29,726 百万円

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円)

科 目		当連結会計年度 2013.3.31	前連結会計年度 2012.3.31
資産の部	流動資産 ◀ POINT 01	149,361	134,196
	現金及び預金	50,496	43,207
	受取手形及び売掛金	45,948	48,746
	繰延税金資産	1,737	1,542
	その他	51,685	41,208
	貸倒引当金	△507	△511
	固定資産 ◀ POINT 02	125,527	117,218
	有形固定資産	102,262	97,581
	無形固定資産	2,349	2,051
	投資その他の資産	20,915	17,585
資産合計		274,889	251,414
負債の部	流動負債 ◀ POINT 03	47,167	46,865
	固定負債 ◀ POINT 04	18,550	17,883
	負債合計	65,717	64,749
純資産の部	株主資本	204,586	191,408
	資本金	18,969	18,969
	資本剰余金	22,516	22,516
	利益剰余金	171,246	158,052
	自己株式	△8,145	△8,129
	その他の包括利益累計額	△5,902	△14,895
	その他有価証券評価差額金	2,185	322
	繰延ヘッジ損益	32	259
	為替換算調整勘定	△8,120	△15,478
	少数株主持分	10,487	10,152
純資産合計 ◀ POINT 05		209,172	186,665
負債純資産合計		274,889	251,414

連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 2012.4.1～2013.3.31	前連結会計年度 2011.4.1～2012.3.31
売上高	344,527	320,988
売上原価	214,908	202,610
売上総利益	129,619	118,378
販売費及び一般管理費	99,995	92,863
営業利益	29,623	25,514
営業外収益	2,646	1,754
営業外費用	271	279
経常利益	31,997	26,989
特別利益	133	69
特別損失	3,193	629
税金等調整前当期純利益	28,937	26,429
法人税、住民税及び事業税	12,204	9,921
法人税等調整額	△1,033	△134
少数株主損益調整前当期純利益	17,766	16,642
少数株主利益	486	523
当期純利益	17,280	16,119

連結包括利益計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 2012.4.1～2013.3.31	前連結会計年度 2011.4.1～2012.3.31
少数株主損益調整前当期純利益	17,766	16,642
その他の包括利益	9,053	128
包括利益	26,819	16,770
(内訳) 親会社株主に係る包括利益	26,274	16,241
少数株主に係る包括利益	545	529

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円)

科 目	当連結会計年度 2012.4.1～2013.3.31	前連結会計年度 2011.4.1～2012.3.31
営業活動によるキャッシュ・フロー ◀ POINT 06	33,367	19,510
投資活動によるキャッシュ・フロー ◀ POINT 07	△19,958	△31,089
財務活動によるキャッシュ・フロー ◀ POINT 08	△4,565	△4,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,094	△319
現金及び現金同等物の増減額	11,938	△16,589
現金及び現金同等物の期首残高	39,402	55,952
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	39
現金及び現金同等物の期末残高	51,341	39,402



連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
2012年3月31日残高	18,969	22,516	158,052	△8,129	191,408	322	259	△15,478	△14,895	10,152	186,665
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△4,086		△4,086						△4,086
当期純利益			17,280		17,280						17,280
自己株式の取得				△16	△16						△16
連結範囲の変動											
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額（純額）						1,862	△226	7,357	8,993	335	9,328
連結会計年度中の変動額合計	－	－	13,194	△16	13,177	1,862	△226	7,357	8,993	335	22,506
2013年3月31日残高	18,969	22,516	171,246	△8,145	204,586	2,185	32	△8,120	△5,902	10,487	209,172

連結財務諸表 POINT

<p>POINT 01 流動資産</p> <p>流動資産は、前連結会計年度に比べ 15,165 百万円 (11.3%) 増加し、149,361 百万円となりました。これは主に、現金及び預金、有価証券が増加したことによるものであります。</p>	<p>POINT 02 固定資産</p> <p>固定資産は、前連結会計年度に比べ 8,309 百万円 (7.1%) 増加し、125,527 百万円となりました。これは主に、機械装置及び運搬具、投資有価証券が増加したことによるものであります。</p>	<p>POINT 03 流動負債</p> <p>流動負債は、前連結会計年度に比べ 301 百万円 (0.6%) 増加し、47,167 百万円となりました。これは主に、未払費用が増加したことによるものであります。</p>	<p>POINT 04 固定負債</p> <p>固定負債は、前連結会計年度に比べ 666 百万円 (3.7%) 増加し、18,550 百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が増加したことによるものであります。</p>
<p>POINT 05 純資産</p> <p>純資産は、前連結会計年度に比べ 22,506 百万円 (12.1%) 増加し、209,172 百万円となりました。これは主に、利益剰余金、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。</p>	<p>POINT 06 営業活動によるキャッシュ・フロー</p> <p>営業活動の結果得られた資金は、前連結会計年度に比べ 13,857 百万円増加し、33,367 百万円となりました。これは主に、売上債権の減少、たな卸資産の減少によるものであります。</p>	<p>POINT 07 投資活動によるキャッシュ・フロー</p> <p>投資活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ 11,130 百万円減少し、19,958 百万円となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入の増加によるものであります。</p>	<p>POINT 08 財務活動によるキャッシュ・フロー</p> <p>財務活動の結果使用した資金は、前連結会計年度に比べ 125 百万円減少し、4,565 百万円となりました。これは主に、短期借入れによる収入の増加によるものであります。</p>

個別財務諸表



個別貸借対照表（要旨）

（単位：百万円）

科 目		当事業年度 2013.3.31	前事業年度 2012.3.31
資産の部	流動資産	92,524	86,411
	固定資産	104,790	103,065
	有形固定資産	71,746	72,727
	無形固定資産	2,262	1,996
	投資その他の資産	30,781	28,341
資産合計		197,315	189,477
負債の部	流動負債	61,808	68,133
	固定負債	13,070	13,087
	負債合計	74,879	81,220
純資産の部	株主資本	120,378	108,024
	資本金	18,969	18,969
	資本剰余金	22,516	22,516
	利益剰余金	88,802	76,431
	自己株式	△9,909	△9,892
	評価・換算差額等	2,057	232
	その他有価証券評価差額金	2,031	232
	繰延ヘッジ損益	26	0
純資産合計		122,435	108,256
負債純資産合計		197,315	189,477

個別損益計算書（要旨）

（単位：百万円）

科 目	当事業年度 2012.4.1～2013.3.31	前事業年度 2011.4.1～2012.3.31
売上高	231,569	220,667
売上原価	135,563	130,495
売上総利益	96,006	90,172
販売費及び一般管理費	83,266	78,203
営業利益	12,739	11,968
営業外収益	11,257	4,101
営業外費用	461	462
経常利益	23,536	15,607
特別利益	7	448
特別損失	1,449	419
税引前当期純利益	22,093	15,637
法人税、住民税及び事業税	6,129	5,335
法人税等調整額	△495	△521
当期純利益	16,459	10,823

個別株主資本等変動計算書

（単位：百万円）

	株 主 資 本												評 価 ・ 換 算 差 額 等			純 資 産 合 計
	資本金	資 本 剰 余 金			利益準備金	利 益 剰 余 金				自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本 剰余金合計		そ の 他 利 益 剰 余 金			利益 剰余金 合計							
						特別償却 準備金	固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金							
2012年3月31日残高	18,969	20,155	2,360	22,516	2,593	839	6,283	42,000	24,714	76,431	△9,892	108,024	232	0	232	108,256
事業年度中の変動額																
特別償却準備金の積立						141			△141							
特別償却準備金の取崩						△162			162							
固定資産圧縮積立金の積立							1		△1							
固定資産圧縮積立金の取崩							△138		138							
剰余金の配当									△4,088	△4,088		△4,088				△4,088
当期純利益									16,459	16,459		16,459				16,459
自己株式の取得											△16	△16				△16
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額（純額）													1,798	25	1,824	1,824
事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	-	△20	△137	-	12,528	12,371	△16	12,354	1,798	25	1,824	14,178
2013年3月31日残高	18,969	20,155	2,360	22,516	2,593	819	6,146	42,000	37,243	88,802	△9,909	120,378	2,031	26	2,057	122,435



1953

冷凍マグロのアメリカへの輸出から事業を開始



1956

マグロなどを原料にした魚肉ハム・ソーセージの製造を始め、食品メーカーとしての一歩を踏み出す



1977

ロサンゼルス郊外にMARUCHAN, INC. ディア工場を開設、即席麺のアメリカ現地生産を開始



1992

アメリカの即席麺市場で1位を獲得、翌年アメリカ3箇所目の工場となるラグナ工場を開設



2001

無菌包装米飯「あったかごはん」を発売、加工米飯が加工食品部門の柱となる

2011

袋麺「マルちゃん正麺」発売、生産は前年竣工した関東工場



1955

川崎市にあった庫腹300トンの冷蔵庫を買収し、冷蔵庫事業を開始



1957年開設の本社に併設した品川冷蔵庫

1962

前年に初の即席袋麺を発売したのに続き、初のマルちゃんブランド商品となる「ハイラーメン」を発売、ヒット商品となる



1975

チルド「焼そば3人前」およびレトルト「赤飯」を発売、「焼そば3人前」は単品で当社最大の売上を誇る、ロングセラー商品となる



1978

「赤いきつねうどん」を発売（「緑のためき天そば」は1980年に発売）



1986

マルちゃんマークを現在のマーク（三代目）に変更、TSマークが制定される



1993

「ワンタン しょうゆ味」を発売、マルちゃんを代表するヒット商品の一つとなる



1998

東扇島第二冷蔵庫開設、翌年総庫腹が40万トンを超える



おかげさまで創立60周年を迎えました

当社は今年設立60周年を迎えました。築地魚市場内の小さな事務所からスタートした後、次々に業容を拡大し現在の規模に至りました。成長のカギとなったポイントについてご紹介します。

60th anniversary

Since 1953

60th ANNIVERSARY



会社概要

創立

1953年3月25日

本社

〒108-8501

東京都港区港南二丁目13番40号

電話 (03)3458-5111(代表)

資本金

189億6,952万円

従業員数

2,137人

事業所数

工場8、冷蔵庫14、

支店・営業所28

関係会社

31社(海外9社含む)

支店・営業所

- ◆北海道支店 (札幌営業所、旭川営業所、函館営業所、帯広営業所)
- ◆東北支店 (仙台営業所、青森営業所、盛岡営業所、秋田営業所、福島営業所、山形営業所)
- ◆信越支店 (新潟営業所、長野営業所)
- ◆北関東支店 (栃木営業所、茨城営業所、群馬営業所)
- ◆東京支店 (東京営業所、千葉営業所、埼玉営業所、神奈川営業所、甲府営業所)
- ◆静岡支店
- ◆名古屋支店 (名古屋営業所、金沢営業所)
- ◆大阪支店
- ◆中四国支店 (中国営業所、四国営業所)
- ◆福岡支店 (福岡営業所、沖縄営業所)

冷蔵庫

- ◆札幌冷蔵庫
- ◆石狩冷蔵庫
- ◆大井埠頭冷蔵庫
- ◆平和島冷蔵庫
- ◆城南島冷蔵庫
- ◆東扇島第一冷蔵庫
- ◆東扇島第二冷蔵庫
- ◆東扇島第三冷蔵庫
- ◆名古屋冷蔵庫
- ◆中部物流センター
- ◆神戸冷蔵庫
- ◆舞洲冷蔵庫
- ◆福岡冷蔵庫
- ◆佐賀冷蔵庫

役員 (2013年6月27日現在)

代表取締役会長 堤 殷
代表取締役社長 小畑 一雄
専務取締役 吉野 廣治
専務取締役 今村 将也
常務取締役 三浪 博行
常務取締役 山本 和夫
常務取締役 吉村 功
取締役 菅原 謙二
取締役 及川 雅晴
取締役 藤谷 忠
取締役 市島 久夫
取締役 飯塚 修
取締役 住本 憲隆
取締役 沖 斉
取締役 豊田 勉
取締役 真喜屋 理恵子
社外取締役 浜田 とも子
常勤監査役 山下 透
常勤監査役 南 守之
社外監査役 高良 明
社外監査役 森 勇

工場

- ◆北海道工場 ◆関東工場 ◆埼玉工場 ◆相模工場 ◆焼津工場 ◆田子工場 ◆神戸工場 ◆福岡工場

主要グループ企業

国内連結子会社

- ◆八戸東洋株式会社 ◆甲府東洋株式会社 ◆フクシマフーズ株式会社
- ◆宮城東洋株式会社 ◆株式会社酒悦 ◆新東物産株式会社
- ◆伊万里東洋株式会社 ◆株式会社フレッシュダイナー ◆株式会社東京商社
- ◆埼玉東洋株式会社 ◆湘南東洋株式会社 ◆ユタカフーズ株式会社
- ◆銚子東洋株式会社 ◆スルガ東洋株式会社 ◆ミツワデイリー株式会社

海外連結子会社

- ◆MARUCHAN, INC. ◆MARUCHAN VIRGINIA, INC. ◆MARUCHAN TEXAS, INC.
- ◆MARUCHAN DE MEXICO, S.A. de C.V. ◆SANMARU DE MEXICO, S.A. de C.V.
- ◆PAC-MARU, INC.

非連結子会社 他

- ◆ヤイズ新東株式会社 ◆東和エステート株式会社
- ◆海南東洋水産有限公司(中国) ◆湛江東洋水産有限公司(中国) ◆青島味豊調味食品有限公司(中国)
- ◆仙波糖化工業株式会社※ ◆下田東水株式会社 ◆株式会社いらご研究所
- ◆ヒガシマルインターナショナル株式会社 ◆株式会社シマヤ ※持分法適用関連会社



株式の状況

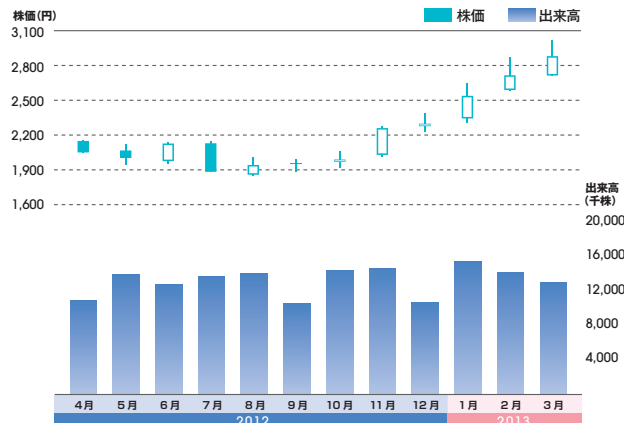
発行可能株式総数…………… 427,000,000 株
発行済株式総数…………… 110,881,044 株
株主数…………… 5,811 名

大株主の状況

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,781	4.67
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	4,012	3.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,985	3.89
株式会社三井住友銀行	2,935	2.87
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) リユーエス タックス エグゼクティブデベジション ファンス	2,842	2.78
マルちゃん持株会	2,104	2.05
一般財団法人 東和食品研究振興会	2,068	2.02
エスエスピーティー オーディー 05 オムニバス アカウント トリーティー クライアント	2,026	1.98
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505225	1,765	1.72
ザ チェス マン ハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,759	1.72

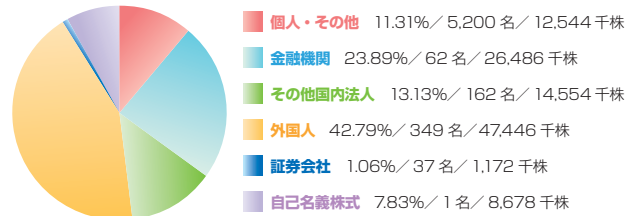
(注) 出資比率は自己株式(8,678,088 株)を控除して計算しております。
(注) 出資比率は小数点以下第 2 位未満を四捨五入して計算しております。

株価及び売買高の推移 (東京証券取引所)

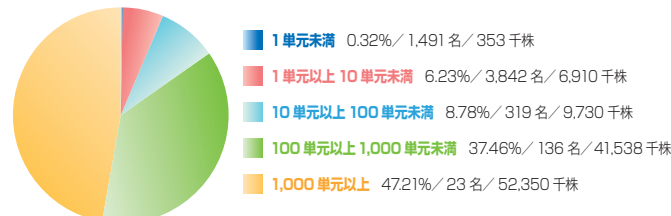


株式分布状況

所有者別



所有株数別



株主優待制度



3,000円相当の製品例

当社では、株主の皆様への利益還元策の一環として、ご所有の株式数に応じて当社製品の詰め合わせを進呈する株主優待制度を導入しています。

今年につきましては、3月末現在、1,000 株以上ご所有の株主様に対し 3,000 円相当の当社製品を、3,000 株以上ご所有の株主様に対し 5,000 円相当の当社ならびに当社グループ会社の製品を、それぞれ 6 月に進呈させていただきました。

●株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス http://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および 全国各支店で行っております。
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

●株式に関する各種手続きについて

・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、上記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取りいただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

お客様の声をより良い商品のために

お客様からの声を受け付ける「お客様相談室」には、様々なご意見・ご要望が寄せられます。その中で商品の改善につながるものについては、積極的に取り入れることでより良い商品づくりにつなげています。直近では、袋めんんの作り方をより分かりやすい表記に改めたり、カップめんんのエネルギー・食塩相当量を麺とスープに細かく分けたりといった改善を行いました。

■改善例

「麺づくり 鶏ガラ醤油」の 標準栄養成分表



標準栄養成分表 1食(97g)当たり	ナトリウム: 2.4g (めん・かやく 0.8g) (スープ 1.6g)
エネルギー: 291kcal	
たん白質: 8.6g	ビタミンB1: 0.50mg
脂 質: 5.2g	ビタミンB2: 0.31mg
炭水化物: 52.4g	カルシウム: 155mg

※参考値:調理直後に分別した値		
	エネルギー	食塩相当量
めん・かやく	257kcal	2.0g
スープ	34kcal	4.1g
合計	291kcal	6.1g



お客様のご要望にお応えして、
エネルギー・食塩相当量を「めん・かやく」と「スープ」に分別しました。